

世界の人よ 笹山で愛、つながろう！



キユことプロダンサー松崎友紀さんとクリティ・イ・ヌンこと山崎康行さんのダンス。



第11回  
笹山じょうもん市  
2010

笹山縄文結婚式  
6月6日(日)



結婚式は縄文太鼓の子どもたちとおとなたちによる「笹山火焰太鼓」の響きの中、縄文の聖なるダンサー・キユと縄文の精霊クリティ・イ・ヌンの踊りから始まりました。

じょうもん市で初めて行われる縄文結婚式。新郎新婦は、3年前から中条のまちづくりのお手伝いに新潟から通ってくださっているカムイフーロ(清水隆太郎さん)とキトリ(阿宮由子さん)です。



時は今から4,500年前、  
笹山縄文ムラ。

縄文の大いなる母パシクル(宇梶静江さん。アイヌの詩人、古布絵作家)と、縄文の聖者ラマト(苅谷俊介さん。俳優、考古学者)が待っている広場へ、ムラ長アシカイクル(山口勝由さん)とともに二人は歩いていきます。

苅谷さんより

自然のいのちと見事につながるように、お前たちは一生お互いを愛し合うことができるか。うむ。カムイフーロ、キトリ、わしらがつくったこの火焰型土器が大事ないのちなのじゃ。これを持って、4,500年後のアホな人間どもに笹山縄文ムラの心と、自然の中に生きている人間とそのいのちを伝えることじゃ。それがこのラマトからお前たちに送るはなむけの言葉じゃ。おめでとう。



宇梶さんより

森羅万象すべてがカムイ(神)であります。神と人間はひとつであり、自分の中にも神がおります。自らがよき生き方をするとともに、まわりの人たちへも生きるいい波動を広げていってください。自分の中の神を意識し、神と話し、自分自身をたいせつにしていってください。お二人がとてもお幸せになることを祈っています。そして、なおいっそう子づくりに励んでいただくこともお祈りしていますね。



二人の誓い

大地の精霊に誓います。私たちはお互いを限りなく愛し、縄文の心を持ち、ともに未来へ歩んでいきます。





ラマトさまの  
励ましの声、  
パンクルさま  
の火の神へ  
の祈りが  
広場に響き  
ます。



↑  
縄文流サンサンクド。  
ムラの地酒で誓いの  
杯がかわされます。  
杯を運ぶのは笹山の  
花の精たち、  
モモコとカイトです。

↑  
笹山ムラの若い衆と  
カムイフーロが巨大  
火おこし機で焰を  
おこします。



縄文の雄叫びが  
笹山の空へ。



お二人の手で愛と平和の焰が笹山ムラにともされました！

いのちを畏敬し、自  
然とともに生きるアイ  
ヌの文化と精神の根  
源には縄文があると  
いわれます。

宇梶良子さん、島田  
あけみさん、小笠原  
小夜さんがアイヌの  
歌と踊りで、今に生き  
る縄文の魂を伝えて  
くださいました。



中条小学校4年生のみなさんがお手製  
の縄文服を着て、心を込めて縄文ダンス  
を踊ります。

ラマトさまの力強い  
大地の踊り。



笹山ダンサーズや会場のみなさん、新郎新婦も加わり、  
広場に大きな踊りの輪ができました。



フィナーレは縄文の大歌手ボレ(岩田日出夫さん)  
の音頭で声高らかに天神囃子を歌いました。